

京都から現代アートシーンの最前線を体感する 2021年開催決定! 「ARTISTS' FAIR KYOTO 2021」 2021年3月6日(土)・3月7日(日)



2021年も名和晃平、塩田千春、加藤泉らがアドバイザーボードとして参加

京都府、ARTISTS' FAIR KYOTO 実行委員会は、歴史ある京都を舞台にしたアーティスト主導のアートフェア「ARTISTS' FAIR KYOTO 2021 (アーティストツ フェア キョウト)」を開催いたします。

これまでのアートフェアの枠組みを超えた本フェアは、来場者とアーティストとのコミュニケーションを生み出す場としても好評をいただき、4回目を迎えます。これまで次世代のアーティストが世に羽ばたくきっかけづくりを積極的に行うことにより、若手アーティストの登竜門としても回を重ねるごとに認知を広げて参りました。2021年も「Singularity of Art (シンギュラリティ オブ アート)」をテーマに、ディレクターには椿昇、若手アーティストを推薦するアーティスト「アドバイザーボード」には、名和晃平、塩田千春、加藤泉らをはじめ、第一線で活躍するアーティスト陣17名を迎えます。それぞれ異なる視点からのキュレーションと公募により選出された可能性溢れる若手アーティストは42組※(10月30日時点)。メイン会場は、趣のある京都のユニークヴェニューをエキセントリックな展示空間に変え、ペインティングからテクノロジーを駆使したインスタレーションまで、多種多様な表現手法の作品を展示・販売します。

3回目となる2020年は、COVID-19(新型コロナウイルス感染症)の影響により、中止を余儀なくされました。今回の「ARTISTS' FAIR KYOTO 2021」では、新型コロナウイルス感染症対策への取り組みを行い、安全かつ安心して作品をご覧いただけるよう、日時指定の事前予約制にて開催いたします。このニューノーマルな時代に、伝統から革新を生み出してきた京都から現代アートシーンの最前線を体感いただける「アートフェア」が再び始動します。

■ ディレクターからのメッセージ



椿昇

京都の地でさやかに3回開催されて来た、アーティストがアーティストを紹介するマイクロマーケットは、初回から出逢うべき人々の必然とも思える出逢いによって想像を超える根を張り巡らせて来たように感じる。恐らく待っていてくださった方々の心に我々の企画したシステムが届いたのではないかと考えている。ウェブやSNSを中心としたピンポイントの広報戦略。スマートフォンのなかに日常も非日常も含まれる時代のなかで、ハイタッチと呼ばれる交換価値を上回る体験価値を創出できた事は大きかった。ARTISTS' FAIR KYOTOの検証をここで行うにはまだ早いのだが、コロナ禍で大荒れの2020を取り巻く2つの事実を確認しようと思う。それは”DIRECT”と”TRUST”というこれからの世界を組み立てるであろう言葉である。直接と信頼。もちろんレーティングという☆評価システムの功罪はあるにせよ、求める人や社会に、生み出す人や社会が直結する事になったのである。巨大な世界のアートマーケットに比べれば観測不能なほど小さな動きだが、地産地消型スタートアップとして、未来を担う人々に共感していただければ幸いである。この場をお借りして、困難な状況下で多大なご協賛をいただいた企業や個人の方々に深く深く感謝を申し上げたい。

■ アドバイザリーボード 17名 (若手を推薦するアーティスト)



井口皓太
撮影: Kenji Takahashi



池田光弘



薄久保香
撮影: Kenshu Shintsubo



大庭大介



加藤泉
撮影: Guillaume Ziccarelli



金氏徹平
撮影: 川島小鳥



鬼頭健吾



塩田千春
撮影: Sunhi Mang



鶴田憲次
京都市立芸術大学ギャラリー
@KCUA 館長



中村裕太
撮影: Nobutada OMOTE



名和晃平
撮影: Nobutada OMOTE |
SANDWICH



松川朋奈



宮永愛子
撮影: MATSUKAGE
@MIYANAGA Aiko
Courtesy Mizuma Art
Gallery



Mon Koutaro Ooyama
撮影: 大山康太郎



矢津吉隆



ヤノベケンジ



Yotta

■ 出展アーティスト

【若手アーティスト: 42組】()内は推薦アーティスト、又は公募選出者 ※2020年10月30日現在

東慎也(鬼頭健吾)/飯田美穂(公募)/WHOLE9(Mon Koutaro Ooyama)/大河原光(松川朋奈)/太田桃香(椿昇)/岡田佑里奈(大庭大介)/奥山帆夏(薄久保香)/國政サトシ(中村裕太)/黒坂祐(大庭大介)/小嶋晶(鶴田憲次)/合田徹郎(塩田千春)/佐々木光(宮永愛子)/佐藤壮馬(公募)/佐貫絢郁(鬼頭健吾)/許芝瑜(金氏徹平)/渋谷七奈(加藤泉)/清水浩三(中村裕太)/たかくらかずき(井口皓太)/高瀬栗菜(公募)/竹内義博(大庭大介)/田島大介(公募)/土取郁香(薄久保香)/椿野成身(池田光弘)/中澤ふくみ(Yotta)/長島伊織(松川朋奈)/NAZE(井口皓太)/西垣 聖也樹(椿昇)/野田幸江(名和晃平)/檜皮一彦(ヤノベケンジ)/藤田紗衣(金氏徹平)/藤野裕美子(塩田千春)/藤本純輝(池田光弘)/札本彩子(塩田千春)/前端紗季(椿昇)/MIZPAM(Mon Koutaro Ooyama)/溝淵珠能(矢津 吉隆)/山越美佳(公募)/山田康平(名和晃平)/山中雪乃(Yotta)/油野愛子(薄久保香)/REMA(ヤノベケンジ)/六根由里香(矢津 吉隆)

【アドバイザリーボード・ディレクター: 9名】

井口皓太/池田光弘/大庭大介/鬼頭健吾/塩田千春/松川朋奈/ Mon Koutaro Ooyama / Yotta / 椿昇

■ クリエイティブメンバー

プロデューサー:
高岩シュン

アートディレクション:
UMA / design farm

会場デザイン:
dot architects (ドットアーキテツ)

<開催概要>

ARTISTS' FAIR KYOTO 2021

日程: 2021年3月6日(土)・3月7日(日)

会場: 京都府京都文化博物館 別館 / 京都新聞ビル 地下1階

時間: 10時00分～18時00分

URL: <https://www.artists-fair.kyoto/>

入場料: 一般1,800円、学生1,000円(要・学生証)、高校生以下無料(要・学生証)

※京都新聞ビル地下1階は無料

※チケットは、オンラインにて事前予約制、販売は1月を予定

※新型コロナウイルス感染症対策についてはこちらをご覧ください。

URL: <https://artists-fair.kyoto/2021/news/news-1479/>

<お問い合わせ>

ARTISTS' FAIR KYOTO 実行委員会

TEL: 075-414-4222 (10:00-17:00 / 土日祝休み)

主催: 京都府、ARTISTS FAIR KYOTO 実行委員会

共催: 京都新聞

後援: 京都商工会議所、一般社団法人京都経済同友会

キービジュアル作品



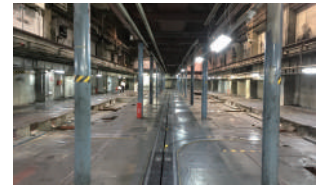
高瀬菜葉「牽制し合うチーター」

素材: キャンパスに油彩

メイン会場



京都文化博物館 別館



京都新聞ビル 地下1階

■特徴

- 美術展とアートフェアの境を取り払った、新しいアートイベント
- 国内外で活躍するアーティスト達が、将来に期待を寄せる新進の若手アーティスト達をセレクト
- 作家 × 観客の販売も交えたコミュニケーションによって完成する、オルタナティブな展覧会
- 地元企業の協力のもと、京都の街中に関連イベントやサテライト会場が出現

■2020年会場の様子

2020年春に開催予定だった「ARTISTS' FAIR KYOTO 2020」は、新型コロナウイルスの感染症拡大の防止のため、参加者および関係者の健康・安全面を第一に考慮し、メイン会場(京都文化博物館別館および京都新聞社地下)のフェアを中止しました。設営まで完了していた会場の様子。



京都府京都文化博物館 別館



京都府京都文化博物館 別館



京都新聞ビル 地下1階

撮影: 前田紗季

■これまでの実績

独自のエコシステムで若手アーティストの登竜門として機能してきたARTISTS' FAIR KYOTO。作品の販売購入実績は回を重ねるごとに増え、国内外の企業に作品が収蔵されるほか、日本のトップギャラリーとの契約や著名なコレクターのコレクションに入ったりと目覚ましい活躍を見せています。

●広報画像はこちらからダウンロードいただけます>><https://bit.ly/2TpCQoS>

京都府、ARTISTS' FAIR KYOTO 実行委員会 (事務局: 京都府文化スポーツ部文化芸術課)

《本件のお問い合わせ》取材依頼、画像貸し出し、ご不明点などございましたらお気軽にお問い合わせください。

PR 担当: liil inc. 篠原 礼子 E-mail: reiko@liil.com TEL: 090-3535-9012

住所: 〒102-0074 東京都千代田区九段南 1-5-6 りそな九段ビル 5F KS フロア